

## 1 はじめに

大分県立南石垣支援学校高等部3年生であった 林 郁香 さんは、平成28年9月15日の給食中に倒れ、大分県厚生連鶴見病院へ救急車で搬送されたが、17日後の10月2日に亡くなられた。郁香さんは、母親によると、よく笑う子で、人と関わることが大好きで、どんなことも楽しんでいつも笑顔で過ごしているお子さんであった。

本件事故では、郁香さんが担任から「食べようね」と声をかけられた後、養護教諭らが食器の割れる音で郁香さんが倒れたことに気付くまでの間の経過がわからず、事故の直接的な原因、当日の経過及び本件事故の発生状況を明らかにすることが最も優先される事項であった。

そのため、まず、事故発生の現場での状況把握から始め、関係者による郁香さんの給食の再現、関係者からの聞き取りを重ねた。また、『学校事故対応に関する調査研究』有識者会議委員でもある 京都精華大学 住友 剛 教授 を招聘し、大分県立南石垣支援学校における事故調査委員会の役割と進め方等についての助言をいただいた。

本件事故の発生状況を明らかにすることと併せて、本件事故直後の救急対応の状況に関する調査も実施し、これらの把握した状況を踏まえ、学校及び県教育委員会の対応の調査を行った。

最終的には、調査した事実の整理、評価、認定をし、認定した事実を検証して問題点を指摘し、本件事故の再発防止策の提言を作成した。

事故調査委員会では、ご両親の許可を得て、『林 郁香さん』を『郁香さん』と記載させていただく。